

「2019年の新年を迎えて」



日本複合・防音床材工業会会長
朝日ウッドテック株式会社
代表取締役社長 海堀 哲也



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当工業会活動に何かとご支援・ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

私どもを取り巻く状況をみますと、雇用と所得の改善により、個人消費は持ち直し、景気は緩やかな回復基調となっているものの、新設住宅着工数は持ち家、貸家などを中心に弱含みで推移しております。資材・エネルギーなどあらゆる分野での原価高騰、職人さんをはじめとする人手不足、豪雨や台風、地震による災害など取り巻く環境は依然深刻な状況にあり、会員各社個々の対策はもちろん、工業会としても着実にテーマを推進して、将来に向けた礎を築いていくという役割を果たしていかなければならないと思っております。

これに関し、現在、工業会において関連省庁・研究機関とも連携して進めている国産材の活用拡大、環境保全への対応などをしっかりと推進し、当業界への信用と発展に結びつけていきたいと思っております。

さて、昨年の工業会活動を少し振り返ってみます。

前年度に引き続き、床暖房プロジェクトチームおよび技術委員会は、林野庁の補助事業を活用した床暖房対応の国産材基材複合フローリングの技術開発への取組みを行ってきました。主な内容としては、国産材基材の試験体を用いて、工業会が策定した試験規格(案)の妥当性を検証する試験を実施しました。その結果、市販製品の試験では試験規格の妥当性が認められました。また、杉等を基材とする試験においては、商品化するために解決を要する技術的開発課題を整理することが出来ました。

今後、複合フローリングの国産材比率60%を達成するため、引き続き林野庁のご支援を得ながら、会員各社のご理解の

もと国産材基材複合フローリングの技術開発を行っていく所存です。

広報委員会では、ホームページ「フローリング・ナビ」公開以降、その中身の改善と充実に取り組んでおります。具体的には、会員専用ページ内における『ヒラタキクイムシ虫害マニュアル』のダウンロード設定や、「ご利用上の注意」へ床拭きタイプ（ウエットタイプ）のロボット掃除機を追加する上での文面検討などを行いました。引き続き、業界情報の発信の核としてのホームページのブラッシュアップを図っていきます。

資材流通委員会では、林野庁補助事業を活用した床暖房対応複合フローリング技術開発の情報提供、家電リサイクル工場やアルミサッシ製造工場の見学会の実施を行いました。家電リサイクルの見学会では、「見て・聞いて・触る」の体験を通じてリサイクルに対するより深い理解を得られました。また、アルミサッシの鋳造・押出・加工・組立と普段なかなか見る機会のない施設の見学もできました。このように会員各社の事業経営の参考となるべく、各種見学会を企画・開催しております。ご協力いただきました企業様には心より感謝申し上げます。

最後になりますが、会員各社・関係工業会・省庁を結ぶ工業会の役割は一段と重要になり、取り組むべき新しい課題も出てくると思います。会員各社とともに、お客様に信頼され、床材の提供を通じて、お客様の暮らしを豊かにし、また地球環境にも配慮していくことで、新しい時代を乗り越える準備を進めていくことを誓い、新年の挨拶とさせていただきます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。